



国際ロータリー第2500地区帯広ローターアクトクラブ広報誌

アクトをさがせ

2004年~2005年

第5号

2005.5.12

広報担当：芋毛 敦子
茂古沼理絵

第728回 「international understanding」

皆さん、このプログラムどうでした？このプログラムは国際奉仕委員会の今までの三回のプログラムを締めくくる内容にしたつもりでしたが、狙いを分かっていただけでしょうか。いろいろ隠しテーマはあったのですが、何か一つでも感じとってくれた人がいれば成功だったかなと思っています。このプログラムでは、非常に時間がタイトで苦しい部分も有ったのですが、ワークショップの手法を取り入れて、アイスブレイクから始まり、お題を投げかけ、KJ法を使いブレーン・ストーミングをして貰った後に、シェアリングをすると言う典型的な流れで行いました。(カタカナばかりで何を言っているか分かりませんね。でも、ディスカッションをする時はこの流れを知っておくと、参加者が良い雰囲気で、しかも効率よく意見を出せ、まとめやすいので、委員会の時など使っても有効ではないかと思えます。)プログラムの具体的な内容ですが、キング牧師の"i have a dream" の演説を聴いて貰い、グループ毎に私の夢と言うテーマで宣言文を考えて貰いました。その時のルールもポイントで、発言する人よりも聞く人の合いの手を対話のトレーニングとして実践して貰いました。また、アイスブレイクを兼ねて、プログラム中あだ名で呼び合うように自己紹介をして貰いました。KJ法でまとめられた、それぞれの宣言文は個性的で、それぞれのグループが楽しそうに発表してくれて良かったと思います。こういう風に盛り上がる気分は、ワークショップならではだと思います。その後、ジョンレノンのイマジンを聞いて貰い、まとめをしました。この内容で、「どこが” international understanding” で3回のプログラムのまとめだったか分かってくれた人が何人いるか気になるので、自分で説明をしてみようと、世界は個人それぞれの夢が集まり形成されている物だと思います。また、話し合うことこそ、答えのない問題を解決できる唯一の手段だとも思えます。国際と言うと、自分から遠い存在に感じられますが、個人個人それぞれが、国際の一員で、それぞれの願いが集まり世界が形成されている事に気づいて欲しかったのです。そして、イマジンを聞いて貰い、みんなに平和をイメージして欲しかったのです。それと、夢を見られる生活が幸せなのだということに、改めて気づいて貰いたかったのです。最期の点鐘で、野原会長が、この音に平和への願いを込めてと言ってくれた時、このプログラムが意義深い物にできたのではないかと思いました。国際奉仕委員会最期のプログラムでしたが、委員会メンバーにはやりたいようにやらせて貰い、感謝しています。 河村 知明会員

第729回 「日本の心を学ぶ」

3月3日、ひな祭りのこの日、「日本の心を学ぶ」をテーマの基お茶会が行なわれました。斉藤委員長よりお茶の点て方と飲み方の説明があり、実際皆で行ってみました。日本の文化の一つである茶道、日々の生活の中で関わる機会が中々とれない私達にとって、日本の心「道」＝「人としての生き方」だと知る事ができた貴重な日でした。 谷本 陽子会員

第730回 「世界ローターアクトデイ」

プロジェクトACT ～四役たち～ 田口モロヲ風に読んでね
・・・風の中のすばるー 砂の上のざんがー みんなどこへいったー・・・
3月13日 日曜日 晴れ。それは四役にとって運命の日だった。
朝、帯広駅に集まった約30名の人々。彼らを如何に楽しませられるか。それが今回四役に課せられた使命だった。
まず、銀河線の車中では車掌となった副幹事伊藤が先陣を切った。ただ制服が調達出来なかった事が非常に残念だった。・・・しかし服装とは裏腹に、その話し振りにはさすが元本職と皆感動した。
本別到着。記念写真撮影の後、出口に黄色いはっぴを着た副幹事荒井が皆を出迎えていた。・・・皆笑いながら似合っていると褒めていたが、本人は非常に複雑な心境だった・・・。
バス移動。本別町の案内役、幹事後藤のバスガイド。車内が狭く少し残念だった・・・だが皆そのガイドの話に聞き耳を立てしきりに感心していた。
ホテルでは本別町の数々の名産品が盛り込まれた昼食、そして温泉。・・・とても癒された。
菓子の家。名物のジャンボシュークリームは買えなかったが、皆喜んでいた。・・・寄って良かった。
とかち岡女堂。大谷社長に今年度、そして次年度会長の運勢を見てもらった。・・・共に素晴らしい運勢で次年度も安泰！？と思った。そして次年度会長には是非ご馳走して貰わなければと皆思った。
その後帯広駅に無事到着し、ロータリアン総評。・・・良い総評をいただけた。
会長絡めの挨拶。とても上手に締めていた。・・・さすが会長。周りを見ると参加者皆癒され満足そうだった。・・・やって良かった。
こうして四役の使命は達成されたのだった・・・。
テールラーイ ヘッドラーアイ たーびはーまだ終わらーないー・・・ 荒井 之也会員

第731回 「地球に優しい節約術～潤ってGO!～」

今回の例会は、私達の担当でもあり、節約を一言で表すのは難しいけれど普段の生活の中でも今回の資料を参考にしていれば手軽に実行できる事もたくさんあるなと思いました。楽しく節約することによって面白さがあれば誰にでも出来る簡単な事ではないでしょうか。まずは身近な事から一つでも習慣にしてたくさんの人に伝えていけたらいいなと思いました。 佐藤 麻衣会員

第732回 「春の大運動会」

今回は「春の大運動会」ということで、青チームと赤チームに分かれて、ドッチボール・玉入れ・リレーと三種目行いました。私は青チームのリーダーで赤チームのリーダーに河村会員で、協議については三種目すべて青チームの勝ちで優勝かっ！！と思っていたらドッチボールで再選！だったんですけど・・・初敗戦。青チーム雪辱戦を申し込み再度ドッチボールで再選！しかし・・・引き分け！？決着をつけるために30秒延長！！しましたが結局青チームが負けてしまいました。う～ん残念・・・。しかし！！青チームは頑張ったよね！皆ありがと☆赤チーム優勝おめでと♪でも怪我なく無事にプログラム終了できて良かったです。クラブ奉仕委員会の皆さん本当にお疲れ様でした。次の日筋肉痛の人が何人かいたそうで・・・たまには運動しないとのね♪ 北橋 康孝会員

第17回全国ローターアクト研修会 3月5日～6日(広島)

帯広からも会長以下5名で参加し、大変有意義な時間を過ごしました。
広島は世界で最初に原爆を落とされた地。毎年8月6日の原爆の日には式典の行なわれる「平和記念公園」内の「広島国際会議場」が会場で、一般会員には平和学習プログラムが組みられました。
1日目は「佐々木雅弘さんの講演」。「鶴を千羽折れば願いがかなう」と、亡くなる直前まで鶴を折り、「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんのお兄さんです。
佐々木さんは、被爆から亡くなるまでの禎子さんの思い、そしてなにより「なぜこの子がこんなに苦しまなければいけないんだ。」と葛藤した親御さんの思いを「朗読劇」として切々と語っていました。
様々な本などに、禎子さんについてはよく書かれています。しかし、それを見つめる家族の心はあまり表現されていなかったのではないでしょうか。途中から私も涙が止まらなくなりました。
よく、戦争や災害、犯罪などのニュースで死者の数が数字で出てきます。ともすればその数字の大きさだけで物事を見てしまいがちですが、その中の一人一人にこれだけの想い、苦悩が詰まっていると気づかされた講演でした。
講演後、佐々木さんに質問させていただきました。「原爆を落としたアメリカを憎んでいませんか?」「いません。憎んでもなにも生まれなないと思っています。」
懇親会では、佐々木さんの息子、祐滋さんがボーカルの務めるバンド「GOD BRESS」の演奏もありました。彼らとは2年前に帯広で会っており、久しぶりに元気な歌声に再会しました。ただ残念なのは、プログラムと彼らのライブの関係について、説明がほとんどなかったこと。もう少し説明があれば、彼らの歌声も生かされたように思います。(ぜひ親子ジョイントの平和学習というのもやってほしい。)
彼らの力強い演奏で懇親会は盛り上がり、帯広の会員数名は彼らのCDをお買い上げ。
夜中は、ネット上で交流している愛知県江南RACのみなさんなどと広島の間へ。こうして距離を越えて酒を飲み交わせるのも全研ならではの。ホテルに戻ったのは・・・何時でしたっけ？
2日目は、平和記念公園周辺を見学。わたしのグループは広島RACのOBの方がガイドをしてくださいました。
「記念公園の周辺も、昔は繁華街だった。」「広島は原爆が落とされるまで大きな空襲はなかったが、それは原爆の威力を調べやすくするため、あえて空襲しなかったという説がある。広島人としては、この場所を実験台にされたようで悔しい。」
私は隣の県、岡山で育ちましたので、広島について少しは知っているつもりでした。それでも、この方から私も知らない話がたくさん聞くことができました。
閉会式の次年度開催地PRでは、「これ持つてくればいいことあるよ。」と、ボールが客席に投げられました。何個か預かっていますので、来年の全研に行く方に渡します。
終了後、「原爆の子の像」前で千羽鶴の奉納式。全国の仲間とともに、先日の例会でJICAのみなさんと折った千羽鶴を捧げてきました。
帯広から本州の全研に参加するのはたしかに大変だと思います。しかし、北海道だけではできない交流や視点がきっと得られます。来年もみんなで参加してください。だって、ぜったい楽しいから！ 伊藤 基会員

第2回第3ブロック会長幹事会、第3ブロック会議 4月2日～3日(十勝川温泉)

雪もまだ少し残る4月初旬、私たちは1泊2日のこの行事に参加するため、音更町十勝川温泉に集結しました。初日は2時から会長幹事会が開かれ、夕方6時からは笹井ホテルの宴会場で春の交流会が開かれました。当日は、3時から部屋に入室、そして温泉に入浴可能と手配してくれた高野ブロック代理の心遣いに胸を打たれました。私は残念ながらその時間にはたどり着けなかったのですが、誰よりも早く温泉を堪能できたアクターが居たのではないのでしょうか。宴会場では、根室、釧路、帯広のメンバーが集まり、飲めや歌えや？の歌えやはなかったですが、みんなでぎやかに楽しく出来ました。宴の後半からは、高野&伊藤会員のダブル司会により、3クラブそれぞれの例会内容をスクリーンで紹介してくれました。質問があるときには、実際にそのクラブの会員にマイクを向け、詳しい話を聞けました。他のクラブではこんな例会をやっているのだなととても勉強になりました。翌日、眠たい？二日酔い？騒ぎ疲れ？な私たちは、だるい体にムチを打ち、温泉より車で5分くらいの十勝エコロジーパークプロジェクトハウスにたどり着きました。ここでは、高野台ブロック代理の色が出た行事、「モノより思い出・・・より思い出に残るモノ!!」と題して、～みんなで作るブロックの証～とのタイトル通り、それぞれのクラブの“盾”を作る作業に取りかかりました。簡単に説明すると、根室は、根室の地図を秋刀魚の赤色で縁取った盾を、釧路は、釧路の地図を海の青色で縁取った盾を、帯広は、十勝平野のグリーンで縁取った盾を作りました。アクリル板に穴を開けたり、色を塗ったりする作業をしました。うまく説明できないので、その目で本物を見てみてください。そして、この3つの盾が重なること、なんと、3ブロックの地図がうまいくあい合ってしまうという代物なのです！その席で、今後は、各例会ではその盾を例会会場に飾ることを約束しました。そして、3ブロックが集まる行事(直近では地区大会 in 根室)では、3ブロックの盾を合わせて飾ろうという約束が取り交わされました。これから、みなさんが例会等で見ることもあると思います。これからもこの盾を大切に、受け継いでいきましょう。 茂古沼 理絵会員

番外編 Happy wedding!!

みなさまこんにちは。この度わたくし高野朋洋と松田千草は縁あって結婚するはこびとなりました。まだまだ未熟な二人ではございますが皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。
・・・というわけで結婚した訳ですが、私達がアクトで出会ってから約3年、始めはお互いに印象が薄かったよね～なんてよく話すのですが、そんな私達もアクト活動を通してお互いのことを少しずつ知っていきました。アクトってそんなものなのかなって最近思います。自分を磨くため、社会に貢献するため・・・いろいろんなアクトの目的はあれども、ステキな出会いを与えてくれるって何よりスバラシイのではないかと・・・。
普通ならあまり考えられないものね。知らない人同士で歌うったりとか、何時間もテーブル囲んで話し合ったりとか、拳句の果てにはイカダ乗ったり、でっかい雪だるま作ったりとか・・・
そんな普段見せないような姿を見せ合って、男同士でも女同士でも、男と女であっても、認め合ったり、惹かれ合ったり、時には反発したり・・・。いろいろあるけどそれらも全て出会ってナンボなのではないかなと思います。結婚から話がそれましたが、私達二人を出会わせてくれたアクトに感謝！！ということで宜しくお願いします。 高野 朋洋&千草

Happy Birthday

	<4月>	<5月>
我妻 浩二会員	4月 8日	後藤 芳子会員 5月 3日
明口美知子会員	4月14日	長岡 佳奈会員 5月 6日
吉田 圭 会員	4月26日	芋毛 敦子会員 5月 7日
清水 美文会員	4月27日	中島 大介会員 5月11日

番外編 アクトラジオ ラジオの時間

毎週月曜日の8時30分よりFMウィングで昨年10月から3月までの半年間。専門知識開発委員会が主体となってラジオ放送を行いました。4月からの放送について委員会で協議した結果、「折角、半年やり遂げたのだからこのまま終わってしまうのは勿体ない。止めてしまうのは簡単だが、大切なことは継続することではないか。」という意見が纏まりました。これからは多くの会員に、もっと自由にラジオに触れてもらいたいと思い、委員会主体から会員有志にて放送を続けることになりました。「ラジオで喋りたい」、「機材操作してみたい」ラジオ放送に興味がある人は気軽にスタジオに遊びに来て下さい。また、ゲストで呼ばれた会員は快く参加して下さい。 斉藤 智教会員

編集後記

芋毛 敦子
みなさん、こんばんは。元気にお過ごしですか？最近、私の働く病院ではインフルエンザの患者さんでいっぱいでした。みなさんの中にも流行に乗ってしまった方はいませんか？私は手洗い、うがい、仕事中はマスクをしたりして、なんとか乗り切りましたよ。今度は鼻炎の季節・・・これまた憂鬱ですが、鼻グズグズさせながら頑張ります！

茂古沼 理絵
今回も会員の皆様のおかげで内容の濃い紙面づくりが出来ました。ありがとうございました。行事等が多かったので色々な話題が聞けました。「アクトをさがせ」も残るところあと1回の発行となります。ラストは、卒業生の皆様にご協力を頂くことになりそうです。